

卒業式 式辞

日差しの優しさに、春の到来が実感できるようになってきた今日の日、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、ここに令和5年度 第53回卒業証書授与式を挙行できますこと心より感謝申し上げます。

只今 卒業証書を授与しました 116名の皆さん。

ご卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんの高校生活は、新型コロナウイルス感染症により制限の多いところからスタートしました。そういう時代とはいえ、理不尽で不自由な思いをされたことと思います。2年生、3年生となるにつれ、制限も緩和され、活動が徐々に活発になってきたことが、救いではありました。

3年生となった皆さんは、生徒会運営、学校行事、部活動などにリーダーとして尽力し、後輩を導いてくれました。この場に凜として立つ皆さんの姿を見るにつけ、この3年間の成長の軌跡を感じ、敬意をもって賛辞を送りたいと思います。

ご家族の皆様におかれましては、お子様が立派にこの晴れの日を迎えられましたことに心よりお祝いを申し上げますとともに、今日までの美方高校へのご支援、ご協力に教職員一同、厚く御礼を申し上げる次第でございます。

卒業生の皆さんがそれぞれの道へと歩みを進める社会は、無限の可能性を秘め、夢と希望に満ちあふれたものです。

「幸せな人生を送るために必要なものは何か」

ハーバード大学の成人発達研究が84年の長きにわたり解き明かした答えは、富や名声ではなく、「よい人間関係」ということでした。皆さん、どうか今まで築かれた人との関係を財産とし、これから出会える多くのご縁を大切に、幸せな人生を歩まれることを願っています。

反面、少子高齢化、厳しい経済状況、頻発する自然災害、混迷を深める国際紛争など、楽観視できない状況があります。その中を強く逞しく生き抜いていただくことをお祈りし私から1つのお願いをします。

「根を育てよ」ということです。

植物がしっかり育ち、毎年花を咲かせるには、土に隠れて普段は目に見えない根の部分が本当に重要です。私は数年前に何本かの挿し木をしました。1年目は順調だったものの2年目に枯れてしまったものは、根がうまく育っていませんでした。一方、ゆっくりではありますが2年目、3年目と育ってきたものは、植木鉢いっぱい根が張りめぐらされていました。

根とは人で言うと普段は目に見えない人間性の部分だと私は思います。どんなに高い地位についても謙虚な気持ちを忘れないこと、私利私欲に溺れない清い道徳心、他人を敬い感謝する気持ちなど、一言でいえば人間として当たり前の正しい心こそが人としての根の部分だと思うのです。

自分は何をしても失敗ばかり、負けてばかり、周囲には要領よく成功している仲間がいる、比べるとそれを見るのもつらい、なぜ自分だけがと落ち込む。この繰り返しとなることもあるでしょう。

でもくさらないで、そういうときこそじっと耐えて、つらいときほど人間としての根が強く育っているのですから。外からは見えませんが人として強くなっているのですから。

根さえしっかりしていれば、また立ち上がることができる。

人間として曲がらず心さえしっかりしていれば、何度でも何度でも挑戦できる。

明・強・清の校訓のもと、美方高校で確実に育ててきた皆さんそれぞれの根を、これからの人生においてさらに強く、深くはりめぐらせてくれることを切に願っています。

結びにご家族の皆様にご改めてお祝いを申し上げますとともに、卒業生の皆様の、ご健康とご多幸を心から祈念し、式辞といたします。

令和6年3月1日

福井県立美方高等学校長 北村 徹